





▼バイオリン教室  
が10周年 赤穂にクラシック音楽を広めよう  
と、平成14年に発足した「ハーモニーヴァイオリンアンサンブル」が、24日、中広の市文化会館大ホールであり、10期生まで約50人が出演した。奏者、樺木大進さんから寄贈された楽器を10期生まで約50人が象に生徒を募り、赤穂ゆかりのバイオリン同教室は小学生を対象に生徒を募り、赤穂ゆかりのバイオリン演奏のため、10期生まで約50人が出演した。主な生徒総数は36人になる。この日の発表会では、10期生10人が「オーラー」「狩人の合唱」など練習してきた4曲を披露。大学生や高校生になったOB生も友情出演し、全員で「さくら星変奏曲」を奏でた。10期生の一人、未廣侑己君(11)・坂越小5年は「たくさんの人の前で演奏できてよかったです。もっと練習して新しい曲が弾けるようだ」と話していた。(写真は10回目を迎えた定期演奏会)



## 農・漁マイスター第1号 樺本實さんら2人に 多年の経験と卓越技術

赤穂市は、第一次産業の分野で多年の経験と卓越した技術を持つ地元の人材を認定する「赤穂農業・漁業マイスター」の第1号として、27日、南野中の樺本實さん(82)と尾崎の樺本吉昭さん(71)を登録した。

樺本さんは60年以上のキャリアを誇る専業農家。こだわりの土で栽培した高品質の作物は、消費者の間で評判で、同業者からも「トップクラス」という。樺木さんはエンジニアを退職してから本格的に野菜生産に取り組

すその拡大に貢献している。マイスターの任期は3年間。市主催の研修会や食育事業などで講師を務める。(写真は樺本吉昭さん)(市秘書庁報提供)

中島町が初歩から指導し、今期までに在籍した生徒総数は36人になる。この日の発表会では、10期生まで約50人が出演した。主な生徒総数は36人になる。この日の発表会では、10期生10人が「オーラー」「狩人の合唱」など練習してきた4曲を披露。大学生や高校生になったOB生も友情出演し、全員で「さくら星変奏曲」を奏でた。10期生の一人、未廣侑己君(11)・坂越小5年は「たくさんの人の前で演奏できてよかったです。もっと練習して新しい曲が弾けるようだ」と話していた。(写真は10回目を迎えた定期演奏会)

■中島町が初歩から指導し、今期までに在籍した生徒総数は36人になる。この日の発表会では、10期生10人が「オーラー」「狩人の合唱」など練習してきた4曲を披露。大学生や高校生になったOB生も友情出演し、全員で「さくら星変奏曲」を奏でた。10期生の一人、未廣侑己君(11)・坂越小5年は「たくさんの人の前で演奏できてよかったです。もっと練習して新しい曲が弾けるようだ」と話していた。(写真は10回目を迎えた定期演奏会)



▼山頂の募金箱に  
善意コツコツ手書き

ハイキングコースとして人気のある加里屋の雄鷹台山(標高253m)10台に小さな貯金箱が置かれている。

地元中学生3人が何気ない気持ちで始めた募

金箱。登山者の善意が

こつこつ集まっている。

募金箱を置いたのは、今春に赤穂中卒業した門崎太成君、田渕健悟君、中野陽介君です。いずれも15歳の3人。幼稚園からの仲良くなりを兼ねて雄鷹台山へ。ついで昨年11月、体力づけを始めたのが、吉昭さん(71)を登録した。

樺木さんは60年以上

のキャリアを誇る専業農家。こだわりの土で栽培した高品質の作物は、消費者の間で評判で、同業者からも「トップクラス」という。樺木さんはエンジニアを退職してから本格的に野菜生産に取り組

た。

樺木さんは60年以上

